

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成24年11月9日

【四半期会計期間】 第64期第2四半期(自平成24年7月1日至平成24年9月30日)

【会社名】 大阪工機株式会社

【英訳名】 O S A K A K O H K I C O . , L T D .

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 柳川 重昌

【本店の所在の場所】 大阪市中央区安堂寺町一丁目6番7号

【電話番号】 06(6765)8201(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長兼経理部長 南 雄治

【最寄りの連絡場所】 大阪市中央区安堂寺町一丁目6番7号

【電話番号】 06(6765)8201(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長兼経理部長 南 雄治

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第64期 第2四半期 連結累計期間	第63期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
売上高 (千円)	7,497,449	14,900,633
経常利益 (千円)	218,257	474,824
四半期(当期)純利益 (千円)	166,441	224,899
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	152,250	226,367
純資産額 (千円)	3,399,237	3,315,692
総資産額 (千円)	8,946,519	9,135,033
1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	48.46	87.84
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-
自己資本比率 (%)	37.9	36.2
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	199,912	65,725
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	26,232	61,106
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	130,135	346,411
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	701,870	743,688

回次	第64期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	22.11

- (注) 1 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指数等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 当社は、第64期第1四半期報告書が四半期連結累計期間での金融商品取引法に基づく最初の開示となるため、第63期第2四半期連結累計期間及び第63期第2四半期連結会計期間の記載は行っておりません。
- 4 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。また、平成24年3月期第2四半期連結累計期間において四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期との比較増減は記載していません。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年9月30日）における我が国経済は、東日本大震災からの復旧・復興需要やエコカー減税等の政策効果を背景に、穏やかに回復しつつありましたが、世界経済の減速等を受けて、終盤では回復の動きに足踏みが見られるようになりました。

欧州や中国等の対外経済環境の不確実性は高く、我が国の景気の下押しリスクとなっているほか、長引く円高、株価低迷、電力不足などの問題に加え、エコカー補助金の打ち切りなどもあり、先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような環境の中、当社グループでは、岐阜に営業所を開所するなど国内外において販売拠点の新設やその準備を進めたほか、取扱い商品の拡充、新規顧客の開拓など、中長期的な施策で企業競争力の強化に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は7,497,449千円、営業利益は221,889千円、経常利益は218,257千円、四半期純利益は166,441千円となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

切削工具事業

切削工具事業につきましては、東日本大震災からの復旧・復興需要が引き続き発現しているものの、海外経済の減速による輸出の減少、エコカー補助金の打ち切りなどにより、需要は減少いたしました。

この結果、売上高は5,158,243千円、セグメント利益は104,489千円となりました。

耐摩工具事業

耐摩工具事業につきましては、東日本大震災の復旧需要が前連結会計年度から継続しており、売上高は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は1,223,446千円、セグメント利益は121,811千円となりました。

海外事業

海外事業につきましては、インドネシア及びベトナムにおいては、連結子会社を設立して間もないこともあり、売上高は低調に推移いたしましたが、成長著しい中国の連結子会社及び洪水からの復興需要のあったタイの連結子会社が海外事業を牽引し、売上高は好調に推移いたしました。

この結果、売上高は850,884千円、セグメント損失は4,051千円となりました。

光製品事業

光製品事業につきましては、液晶パネル業界の市況悪化により、当事業の主力商品である液晶検査装置メーカー向け工業用照明の需要が減少しており、売上高は低調に推移いたしました。

この結果、売上高は264,875千円、セグメント損失は651千円となりました。

(2) 財政状態の分析

(総資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて180,497千円減少し、7,158,207千円となりました。これは、商品が97,300千円、受取手形及び売掛金が68,417千円、現金及び預金が41,818千円それぞれ減少したことなどによるものであり、仕入を抑制したことなどを主な要因としております。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて7,312千円減少し、1,786,434千円となりました。これは、主に減価償却により建物及び構築物が10,521千円減少したことによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて188,514千円減少し、8,946,519千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて502,053千円減少し、4,798,924千円となりました。これは、仕入の抑制により支払手形及び買掛金が385,814千円、法人税等の支払いにより未払法人税等が51,558千円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて229,994千円増加し、748,357千円となりました。これは、短期借入れから長期借入れへの一部借り換え等により長期借入金が249,786千円増加したものの、社債が償還により50,000千円減少したことなどによります。

この結果、負債は、前連結会計年度末に比べて272,058千円減少し、5,547,282千円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて83,544千円増加し、3,399,237千円となりました。これは、利益剰余金が四半期純利益の計上により166,441千円増加し、配当金の支払いにより68,688千円減少したことなどによります。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、701,870千円となりました。
各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は、199,912千円となりました。
収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益279,785千円、たな卸資産の減少額99,818千円、売上債権の減少額73,081千円、退職給付引当金の増加額23,285千円、減価償却費22,189千円などであり、支出の主な内訳は、仕入債務の減少額389,906千円、法人税等の支払額171,583千円などであります。これは、主に仕入を抑制したことなどによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果得られた資金は、26,232千円となりました。
収入の主な内訳は、生命保険を解約したことによる保険積立金の解約による収入62,256千円であり、支出の主な内訳は、保険積立金の積立てによる支出15,720千円、営業車等を購入したことによる有形固定資産の取得による支出13,125千円などであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果得られた資金は、130,135千円となりました。
収入の主な内訳は、長期借入れによる収入400,000千円であり、支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出76,020千円、短期借入金の純減額74,900千円、配当金の支払額68,113千円、社債の償還による支出50,000千円などであります。これは、主に短期借入れから長期借入れへの一部借り換え等により長期借入金が増加したことなどによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに発生した課題はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	4,800,000
計	4,800,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年11月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	3,434,420	3,434,420	大阪証券取引所 J A S D A Q (スタン ダード)	完全議決権株式であり、権利内容 に何ら限定のない当社の標準とな る株式であります。なお、単元株式 数は100株であります。
計	3,434,420	3,434,420	-	-

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年9月30日		3,434,420		350,198		330,198

(6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
林 祐介	大阪府吹田市	535,600	15.59
大阪工機従業員持株会	大阪市中央区	263,637	7.67
大阪ビジネスプランニング有限公司	大阪府吹田市千里山松が丘12-18	246,000	7.16
柳川 修一	堺市西区	212,800	6.19
柳川 妙子	大阪府岸和田市	200,800	5.84
柳川 重昌	大阪府岸和田市	186,000	5.41
柳川 十糸久	大阪府豊中市	170,000	4.94
宿 淳子	大阪市北区	160,400	4.67
柳川 純子	大阪府吹田市	154,000	4.48
柳川 歩	大阪府豊中市	119,600	3.48
計		2,248,837	65.47

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	-	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 3,433,900	34,339	完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社の標準となる株式であります。なお、単元株式数は100株であります。
単元未満株式	普通株式 520	-	-
発行済株式総数	3,434,420	-	-
総株主の議決権	-	34,339	-

【自己株式等】

該当事項はありません。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

当社は、前連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）において金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期との対比は行っておりません。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	743,688	701,870
受取手形及び売掛金	3,193,811	3,125,393
商品	3,044,219	2,946,918
その他	387,646	412,592
貸倒引当金	30,659	28,566
流動資産合計	7,338,705	7,158,207
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	342,249	331,728
土地	1,020,338	1,020,338
その他(純額)	47,859	50,972
有形固定資産合計	1,410,447	1,403,040
無形固定資産	49,121	41,021
投資その他の資産		
その他	350,172	359,231
貸倒引当金	15,994	16,857
投資その他の資産合計	334,178	342,373
固定資産合計	1,793,747	1,786,434
繰延資産	2,581	1,877
資産合計	9,135,033	8,946,519
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,439,330	3,053,516
短期借入金	1,061,694	987,022
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	136,040	210,234
未払法人税等	183,217	131,659
賞与引当金	127,067	131,351
役員賞与引当金	20,223	12,000
その他	233,405	173,141
流動負債合計	5,300,978	4,798,924
固定負債		
社債	100,000	50,000
長期借入金	216,610	466,396
退職給付引当金	91,500	114,785
役員退職慰労引当金	108,208	111,333
その他	2,044	5,843
固定負債合計	518,362	748,357
負債合計	5,819,341	5,547,282

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	350,198	350,198
資本剰余金	330,198	330,198
利益剰余金	2,648,204	2,745,958
自己株式	-	17
株主資本合計	3,328,601	3,426,337
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,686	11,034
為替換算調整勘定	34,677	27,328
その他の包括利益累計額合計	23,990	38,363
少数株主持分	11,082	11,262
純資産合計	3,315,692	3,399,237
負債純資産合計	9,135,033	8,946,519

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	7,497,449
売上原価	5,997,797
売上総利益	1,499,652
販売費及び一般管理費	1,277,762
営業利益	221,889
営業外収益	
受取利息	140
受取配当金	636
仕入割引	22,754
その他	5,471
営業外収益合計	29,002
営業外費用	
支払利息	6,817
売上割引	12,347
その他	13,469
営業外費用合計	32,634
経常利益	218,257
特別利益	
保険解約返戻金	61,527
特別利益合計	61,527
税金等調整前四半期純利益	279,785
法人税、住民税及び事業税	124,281
法人税等調整額	10,937
法人税等合計	113,343
少数株主損益調整前四半期純利益	166,441
四半期純利益	166,441

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	166,441
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	21,721
為替換算調整勘定	7,529
その他の包括利益合計	14,191
四半期包括利益	152,250
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	152,069
少数株主に係る四半期包括利益	180

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自平成24年4月1日
至平成24年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	279,785
減価償却費	22,189
のれん償却額	4,385
社債発行費	703
貸倒引当金の増減額（は減少）	1,207
賞与引当金の増減額（は減少）	4,283
役員賞与引当金の増減額（は減少）	8,223
退職給付引当金の増減額（は減少）	23,285
役員退職慰労引当金の増減額（は減少）	3,125
受取利息及び受取配当金	777
支払利息	6,817
為替差損益（は益）	2,257
保険解約返戻金	61,527
売上債権の増減額（は増加）	73,081
たな卸資産の増減額（は増加）	99,818
仕入債務の増減額（は減少）	389,906
その他	80,109
小計	22,017
利息及び配当金の受取額	777
利息の支払額	7,089
法人税等の支払額	171,583
営業活動によるキャッシュ・フロー	199,912
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	13,125
有形固定資産の売却による収入	1,901
無形固定資産の取得による支出	3,701
投資有価証券の取得による支出	3,300
保険積立金の積立による支出	15,720
保険積立金の解約による収入	62,256
その他	2,077
投資活動によるキャッシュ・フロー	26,232

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
 (自平成24年4月1日
 至平成24年9月30日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額（は減少）	74,900
長期借入れによる収入	400,000
長期借入金の返済による支出	76,020
社債の償還による支出	50,000
自己株式の取得による支出	17
配当金の支払額	68,113
その他	814
財務活動によるキャッシュ・フロー	130,135
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,726
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	41,818
現金及び現金同等物の期首残高	743,688
現金及び現金同等物の四半期末残高	701,870

【会計方針の変更等】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第2四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
受取手形	64,276千円	47,081千円
支払手形	35,332千円	31,635千円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
給料及び賞与	443,392千円
賞与引当金繰入額	131,351千円
役員賞与引当金繰入額	12,000千円
退職給付費用	30,798千円
役員退職慰労引当金繰入額	6,125千円
減価償却費	22,189千円
のれん償却額	4,385千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
現金及び預金勘定	701,870千円
現金及び現金同等物	701,870千円

(株主資本等関係)

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	68,688	20.00	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	切削工具事業	耐摩工具事業	海外事業	光製品事業			
売上高							
外部顧客への売上高	5,158,243	1,223,446	850,884	264,875	7,497,449	-	7,497,449
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	7,965	-	7,965	7,965	-
計	5,158,243	1,223,446	858,850	264,875	7,505,415	7,965	7,497,449
セグメント利益 又は損失()	104,489	121,811	4,051	651	221,598	291	221,889

(注) 1 セグメント利益の調整額291千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	48円46銭
(算定上の基礎)	
四半期純利益金額(千円)	166,441
普通株主に帰属しない金額(千円)	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	166,441
普通株式の期中平均株式数(株)	3,434,401

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月9日

大阪工機株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 日根野谷 正 人 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 辰 巳 幸 久 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている大阪工機株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、大阪工機株式会社及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。